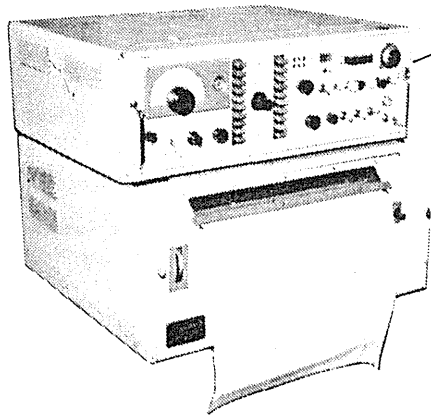
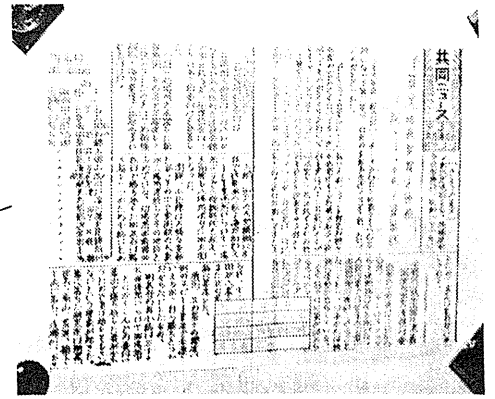


# ~~~~~ 昔 日 の 機 器 (33) ~~~~~ ファクシミリ(その3) ~~~~~



船舶局等で使用している  
ファクシミリ受信機  
NEF-45A FACSIMILE  
No F-20189 DATE 44.11  
NANAYO ELECTRIC CO., LTD  
TOKYO JAPAN

共同通信社により放送された  
船舶向け新聞模写受信データ  
共同ニュース第3号昭和39.3.3  
瀬田丸 ロサンゼルス沖  
昭和39.3.3 0900 JST  
周波数 22MHz



電気通信回線を利用するための制約の多かった戦前であっても、情報交換の必要性から通信社ではいろいろと使用していました。

戦前の通信社で最も古い会社は明治21(1888)年1月に発足した時事通信社です。その後9社ほどが設立されましたが、時代と共に紆余曲折を経て各社が合体して昭和11(1936)年1月1日 社団法人・同盟通信社という単一で強力な国家代表通信社(NATIONAL AGENCY)が誕生しました。

この通信社の新聞ニュースの無線放送は、昭和15(1940)年4月1日通信省令第14号によって同報無線電報規則が公布されて正式に業務を開始しました。

太平洋戦争の終結に伴い同盟通信社は昭和20(1945)年10月末日自主的に解散しました。

このあとを受けて昭和20(1945)年11月1日、株式会社時事通信社及び社団法人共同通信社の2社が設立されて現在に至っています。

時事通信社では昭和21(1946)年12月12日通信省令第1101号「模写電信専用について」に基づいて有線による市内のファクシミリを開始、また、昭和16(1941)年7月17日通信省令第71号「電気通信施設ノ専用ニ関スル件」に基づいて昭和22(1947)年10月11日通信省令第1161号「専用模写電信について」によって一般ニュースの供給用として

戦後最初の許可が与えられ、通信省が昭和24(1949)年4月21日に正式に使用を許可したのに伴って市外専用線により模写電信を始めました。

昭和24(1949)年8月10日から有線テープ式ファクシミリ、昭和27(1952)年2月21日からページ式、また、昭和29(1954)年7月21日 ホーガン式ファクシミリによる運用が始まりました。

電波を使用してのファクシミリ・サービスはまず超短波(FM)の実験許可がGHQより昭和23(1948)年8月26日に得られて同年8月31日より始められたが実際に業務が開始されたのは昭和25(1950)年6月9日でした。

短波での同報無線は昭和23(1948)年10月19日許可、昭和24(1949)年11月1日 検見川送信所から発射、昭和26(1951)年10月2日テープ・ファクシミリ化され、昭和29(1954)年7月1日ホーガン式ファクシミリとなりました。

共同通信社と時事通信社は時により同一歩調をとっていますが、特に共同通信社では昭和39(1964)年3月2日から船舶向け新聞模写業務が始まりました。これらのことはすべて多くの卒業生と深いかわりがあります。

(建業15年、建業40年：時事通信社、共同通信社の20年：共同通信社、日本無線史参照)

本学名誉教授 宮坂 武芳